

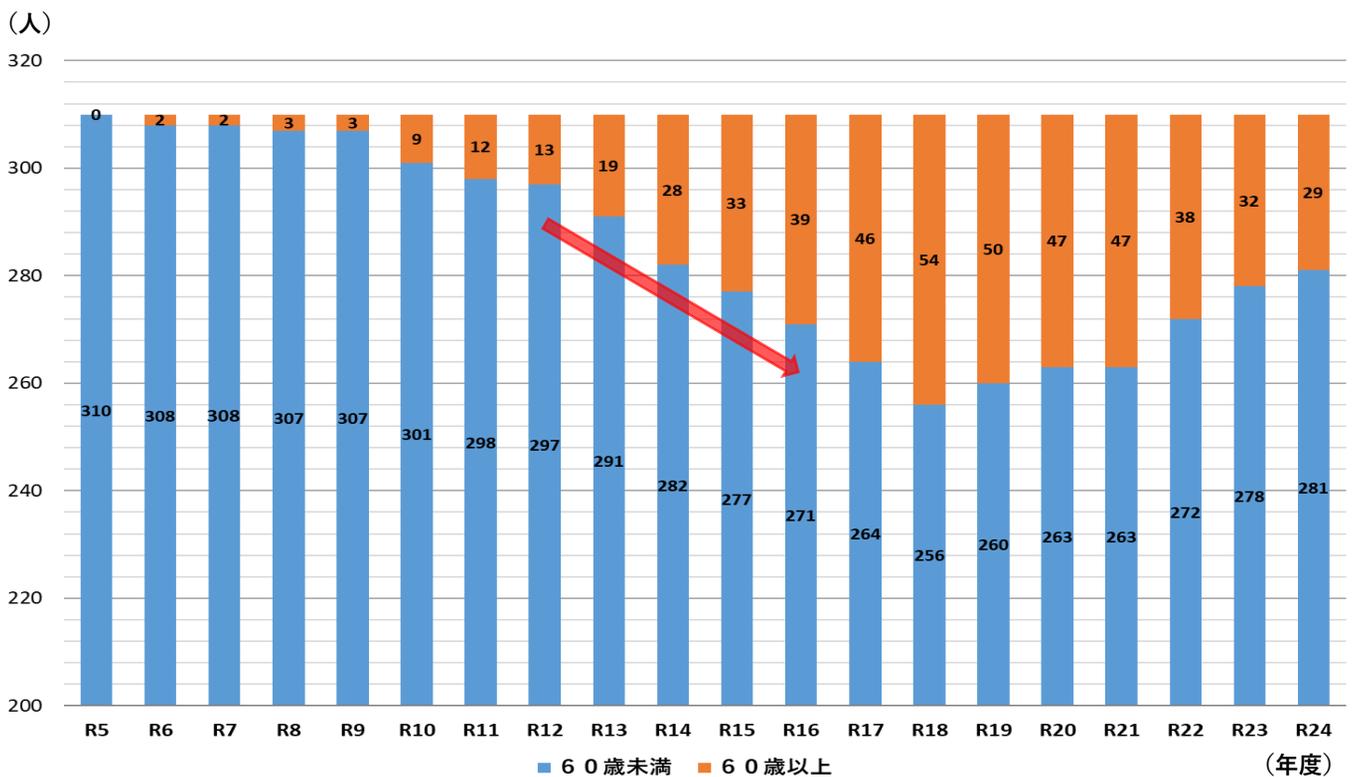
# 定年引上げ等における消防力の維持と定数管理について

## 1. 定年引上げ後における定年退職者数等の推移

▶ 今後20年間の定年退職者数

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
退職年齢(歳)	61		62		63		64		65											
退職者(人)	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	6	3	1	7	9	7	12	10	9	3
10年毎の合計(人) →	5										67									

▶ 60歳以上の職員数の推移



## 2. 検討課題

【定年引上げに関連しての課題】

- 役職定年制導入に伴う60歳以上の職員（管理職を含む）の適材適所配置（日勤又は隔日勤務）
- 暫定再任用短時間勤務者及び定年前再任用短時間勤務者の配置と該当者数の見込み
- 定年引上げによる影響と適正な定数管理〔新規職員採用計画〕
  - ・ 現場勤務者の確保と体制維持（高齢職員の健康管理、現場活動従事年齢）
  - ・ 職員の年齢構成不均衡の改善（新規採用者数の平準化）ほか

【その他の課題】

- 庁舎の人員許容数と職員配置
- 育休取得の推進と勤務体制の確保

## 3. 今後の日程（案）

- 令和5年8月 組織市町担当課長会議（方針案協議）
- // 10月 正副管理者会議、組合議会（方針案協議、議会説明）
- 令和6年1月 // （職員定数条例等の改正案協議、議会上程）